施工説明書

INAX

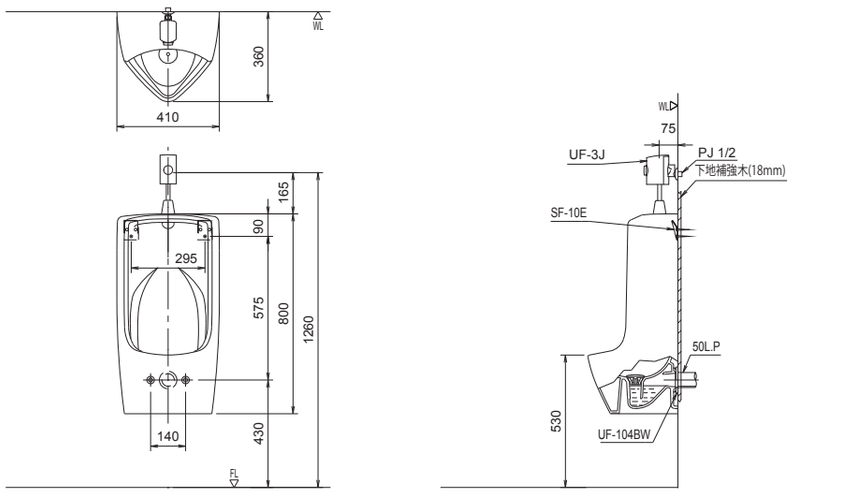
壁掛ストール小便器（大形）（小形）（狭小）（幼児用）

(G)U-411R（大形）　(G)U-441R（狭小）
(G)U-431R（小形）　(G)U-401R（幼児用）

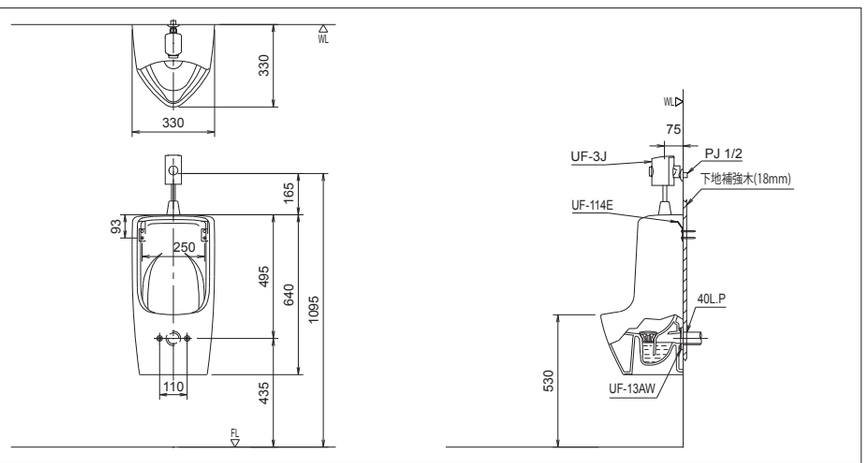
商品の機能が 100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書をお客さまににお渡しください。

●施工完了図

(G)U-411R

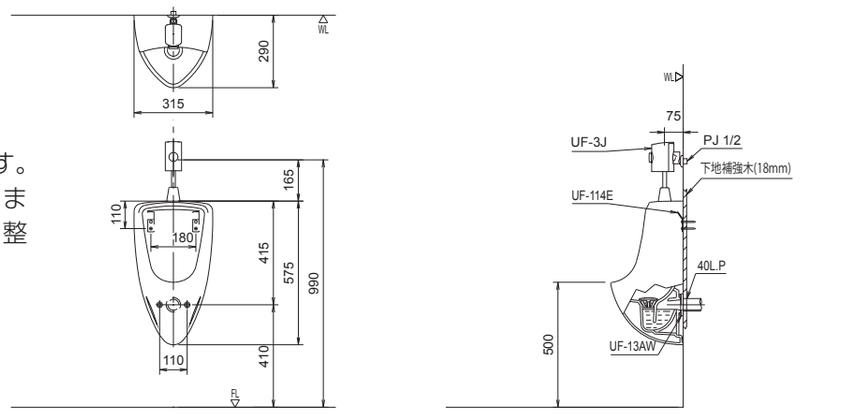


(G)U-431R

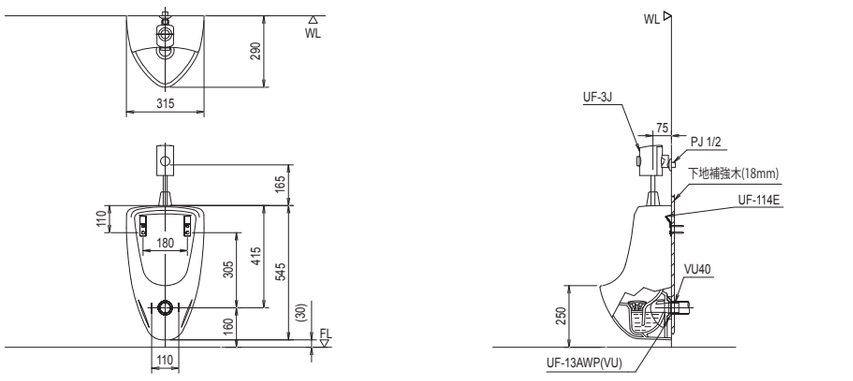


(G)U-441R

※施工高さは、一例です。
ご使用になるお客さまに合わせて高さを調整する場合があります。



(G)U-401R



●安全上のご注意

- ●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ●施工終了後、正常に作動することを確認するとともに、お客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- ●この施工説明書はお客さまで保管頂くよう依頼してください。

用語の解説

注意 ・・・「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ 注意

陶器は割れものです。
- ●施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- ●施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

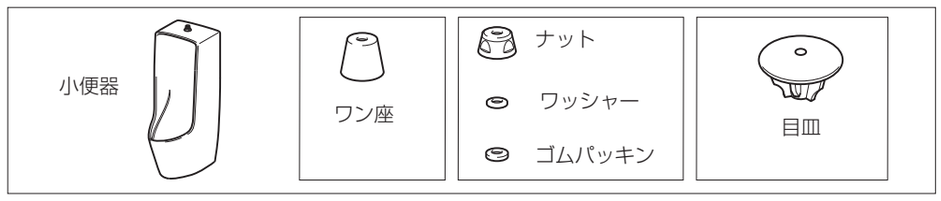
陶器に対するねじは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れてケガをする恐れがあります。

施工後に漏水検査を必ず行ってください。
※漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

●施工前のご注意

- ●最低必要水圧 0.07MPa（流動圧）～ 0.75MPa（静水圧）としてください。
  ※最低水圧を下回ると十分な流量が確保されず、鉢洗浄ができなくなる場合があります。
  ※最高水圧を上回ると故障の原因となります。
- ●取付強度を保つため、下地に 18mm 以上の JAS 規格合板相当をご使用ください。
  補強木は構造体と固定を行ってください。

●部品の確認



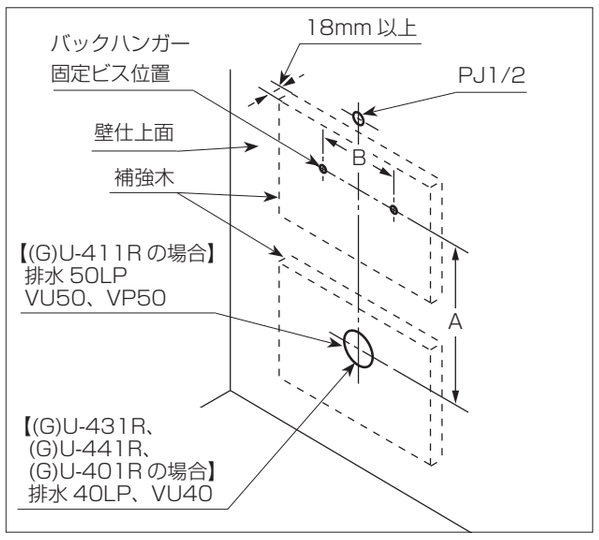
※ フランジボルト用キャップ H-54/ 色は、別売になります。

●施工方法

1 バックハンガーの位置決め

下表に従い、適合品番の位置で位置決めしてください。

	A	B
(G)U-411R	575	295
(G)U-431R	402	250
(G)U-441R	305	180
(G)U-401R	305	180

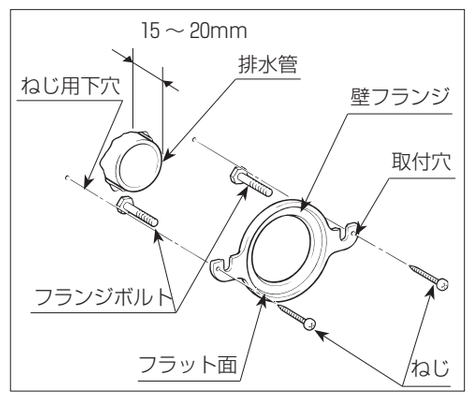


2 壁フランジ（別手配）の取付け

【金属製フランジ（鉛管専用）の場合】

(G)U-431R、(G)U-441R、(G)U-401R の排水管は 40LP、または VU40 になります。
フランジは 40LP の場合 UF-13AW を、VU40 の場合は UF-13AWP(VU) を使用してください。

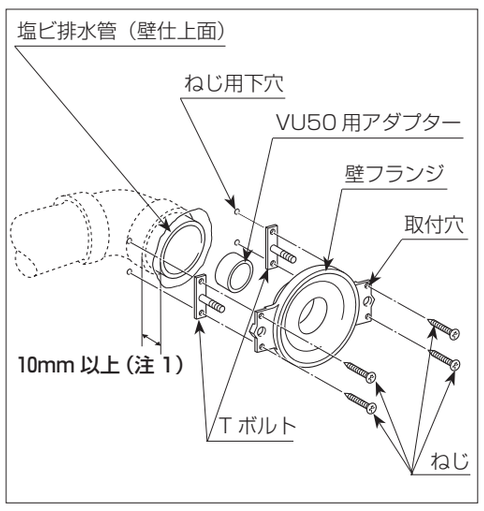
1. 排水管を仕上面上 15 ～ 20mm 確保して切断します。
   ◆注意点
   - ●壁フランジの取付けは必ず仕上面上に行ってください。
2. 壁フランジを取り付けます。
   ◆注意点
   - ●コンクリート壁の場合は AY ボルト (UF-13AW の場合 AY-21（1P）を 2 本、UF-13AWP（VU）の場合 AY-21(1P)を 4 本) を別途手配してください。この場合、下穴（Φ 7.5、深さ 40mm）をあらかじめ開けてください。
   - ●2 個の取付穴は床面と平行にしてください。
3. 排水管をフラット面に沿って亀裂、破損をさせないようにツバ拡げします。
   ◆注意点
   - ●十分ツバ拡げできない場合は、シールが不完全となり漏水の恐れがあります。その場合、フランジと鉛管のツバ部をハンダ付けしてください。

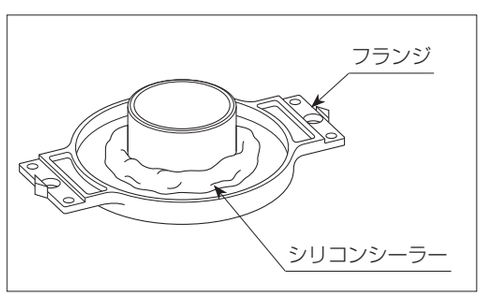


【樹脂製フランジ（塩ビ管専用）の場合】

(G)U-411R の排水管は 50LP、または VU50、VP50 になります。
フランジは 50LP の場合 UF-104BW を、VU50、VP50 の場合は UF-104BWP を使用してください。

1. 塩ビ排水管を、壁面と同一面になるように切断します。
   ◆注意点
   - ●（注 1）のとおり、継手を壁仕上げ面から 10mm 以上ひかえるようにしてください。
     10mm 以下になると木ねじが配管に干渉し、施工不良の可能性があります。
2. T ボルトを壁フランジ背面から通して、壁フランジを取り付けます。
   ※コンクリート壁の場合は AY ボルト (UF-104BW の場合 AY-21（1P）を 2 本、UF-104BWP の場合 AY-21（1P）を 4 本) を別途手配してください。この場合、下穴 (Φ 7.5、深さ 40mm) をあらかじめ開けてください。
   ※ 4 個の取付穴は床面と平行にしてください。
3. フランジを塩ビ排水管に仮挿入して、ガタの有無を確認してください。
   ※ VU 管の場合、あらかじめ塩ビ用接着剤でフランジに VU50 用アダプターをはめ込んでください。
4. フランジの左右に T ボルトをはめ込みます。
   ガタがある場合はフランジ根元にΦ 10mm 程度の太さで全周にシリコンシーラーを塗布してください。ガタがない場合はフランジ、および塩ビ排水管の両方に塩ビ用接着剤を塗布してください。シリコンシーラーまたは接着剤塗布後、フランジを塩ビ排水管にしっかり押し込みます。
   ※シールおよび接着が不十分ですと、漏水、臭気発生の原因となります。
5. 木ねじでフランジを壁に固定します。
   ◆注意点
   - ●フランジは壁面に木ねじまたは AY ボルトで確実に固定してください。
     ※固定が不完全な場合、十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
   - ●塩ビ排水管の切断面は必ず壁面と同一面になるようにしてください。
     ※切断面と壁面を同一にしないと、十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
   - ●T ボルトはフランジ背面の凹面に確実にはまるようにしてください。
     ※確実にはめ込まないと十分なシール性が確保できず、漏水する恐れがあります。
   - ●シリコンシーラーをご使用の際は、排水管内へシリコンのはみ出しがないか確認し、はみ出している場合、シリコンをふき取ってください。
     ※排水管内にシリコンがはみ出していると、排水不良につながる恐れがあります。
   - ●シリコンシーラーは当社別売品（PBM-100G）もしくは市販品をご使用ください。





商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで　　ナビダイヤル　TEL 0570-01-7173　FAX 0570-01-7178
受付時間　平日 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00（ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く）
※ナビダイヤルは、PHS・IP 電話などではご利用になれない場合がございます。右記番号をご利用ください。 TEL 0562-31-0793　FAX 0562-31-0797

3 バックハンガー（別売品）の仮固定および固定

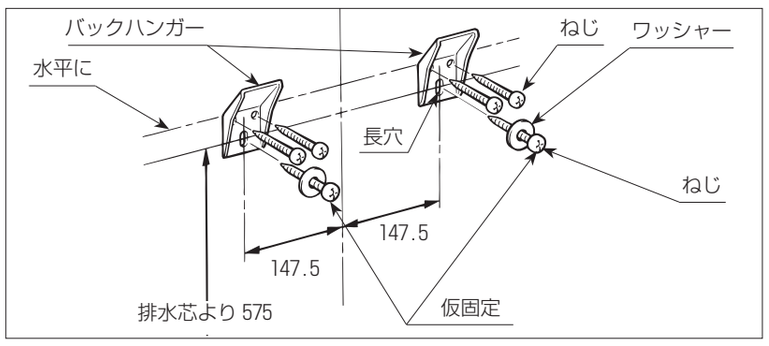
1.排水芯より各々所定の高さを中心に、左右に振り分けたバックハンガー長穴の中心を合わせて固定ねじで仮固定します。

◆注意点

●仮固定したねじ以外は、取付けないでください。

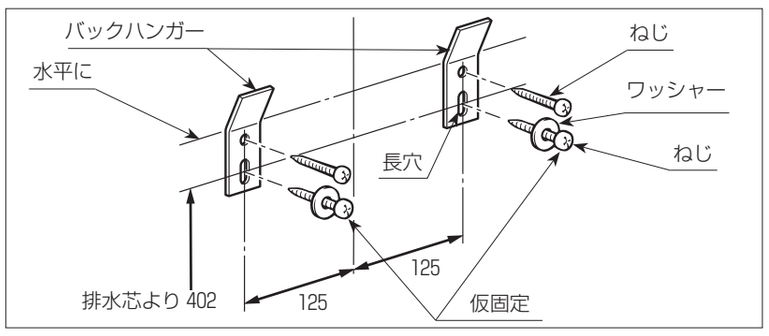
【(G) U-411R の場合】

排水芯より 575mm の高さを中心に左右 147.5mm の位置



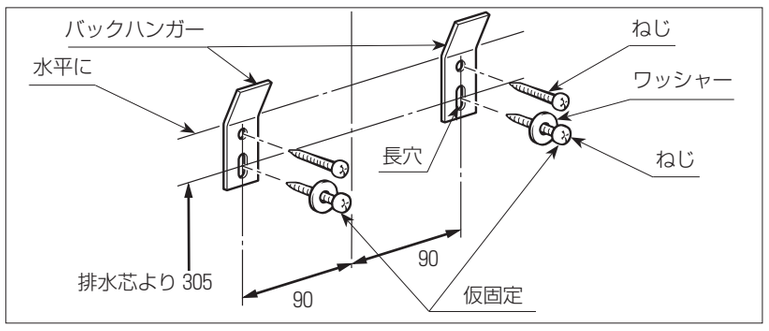
【(G) U-431R の場合】

排水芯より 402mm の高さを中心に左右 125mm の位置



【(G) U-441R、(G) U-401R の場合】

排水芯より 305mm の高さを中心に左右 90mm の位置



◆注意点

●２個のバックハンガーが水平になるようにしてください。

●コンクリート壁の場合、下記 AY ボルトを別途手配してください。この場合、下穴（Φ 10.5、深さ 70mm）を開けてください。

【U-411R の場合】

AY ボルト (AY-34（1P）: 6 本)

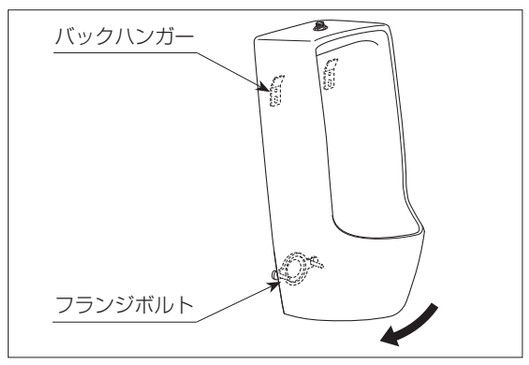
【U-431R、U-441R、U-401R の場合】

AY ボルト (AY-34（1P）: 4 本)

2.小便器をバックハンガーに掛け、フランジボルトが小便器のボルト穴に入ることを確認し、外します。

◆注意点

●ボルト穴にフランジボルトが入らなかったり、小便器が水平でない場合は、長穴を利用してバックハンガーを上下にスライドさせ調節してください。



3.バックハンガーを固定します。

【(G) U-411R の場合】

２個のバックハンガーを各々３本のねじで固定します。

【(G) U-431R、(G) U-441R、(G) U-401R の場合】

２個のバックハンガーを各々２本のねじで固定します。

4 シール材の取付けおよび小便器の固定

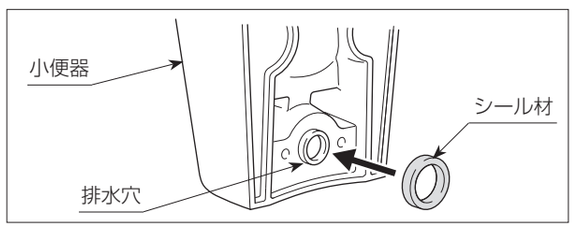
1.小便器の排水穴にシール材を取り付け、小便器をバックハンガーに掛けます。

◆注意点

●排水穴周囲の汚れ、湿気を十分に取り除いてください。

⚠ 注意

シール材は排水穴の底面および側壁にしっかり密着させてください。
※漏水の原因となります。



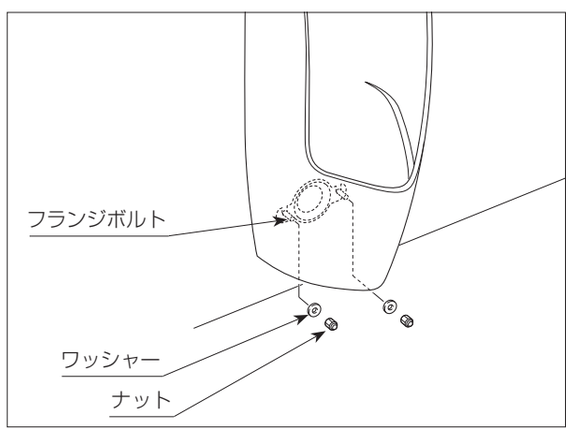
2.フランジボルトにワッシャー、ナットを締めて小便器下部を固定します。

◆注意点

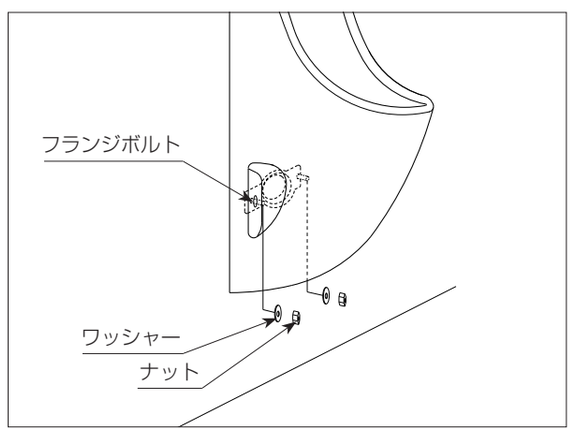
●ナットは、左右交互に均等の強さで締め付けてください。

●強く締めすぎますと小便器が割れる恐れがあります。

【(G) U-411R、(G) U-431R の場合】



【(G) U-441R、(G) U-401R の場合】



5 給水金具の取付け

【フラッシュバルブの場合】

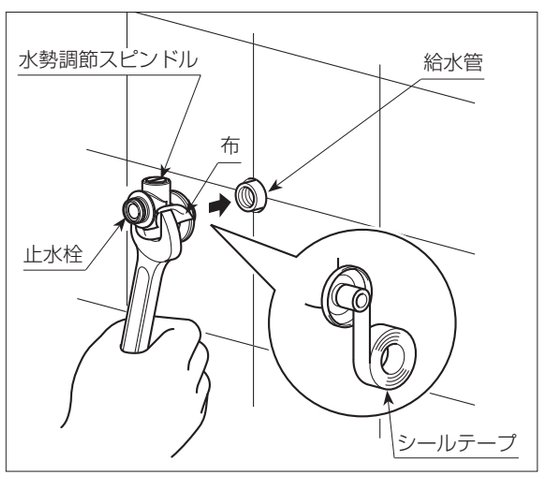
1.壁面へ取り出した給水管に止水栓を取り付けます。

◆注意点

●ねじ部にシールテープ等のシール材を巻き付けてください。

●止水栓の表面に傷が付かないように、布等で保護してください。

●水勢調節スピンドルが上になるように取り付けてください。



2.バルブ本体を止水栓に取り付け、クリップリングで固定します。

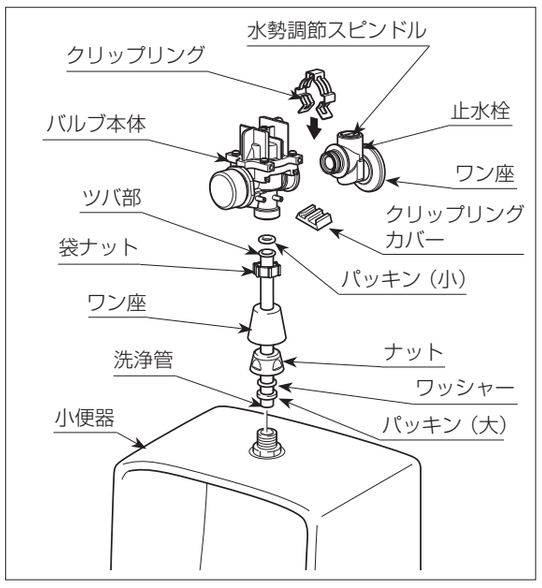
3.バルブ本体と小便器の間を、洗浄管にて給水接続します。

◆注意点

●洗浄管の小便器への接続は現物合わせにて、差し込みしろとして 10 ～ 20 mm 残して切断してください。

●ツバ部は絶対に切断しないでください。

●パッキン（小）とパッキン（大）を付け間違えないようにしてください。



【小便器自動洗浄システムの場合】

小便器自動洗浄システムの施工説明書に従って取り付けてください。

6 水漏れ点検

ボタン操作を数回行って、給水接続部やフランジ部に漏水がないことを確認します。

◆注意点

●フランジ部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。

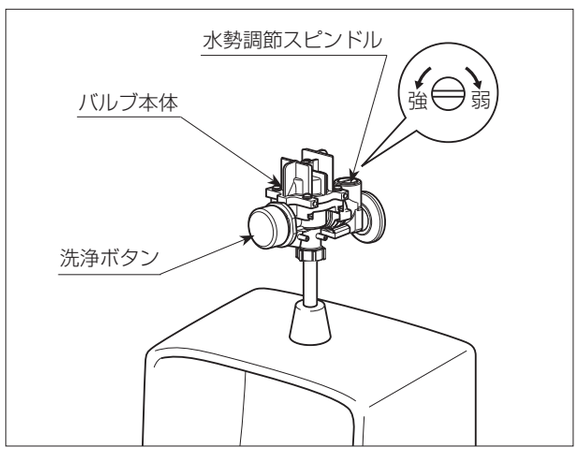
7 水勢の調整

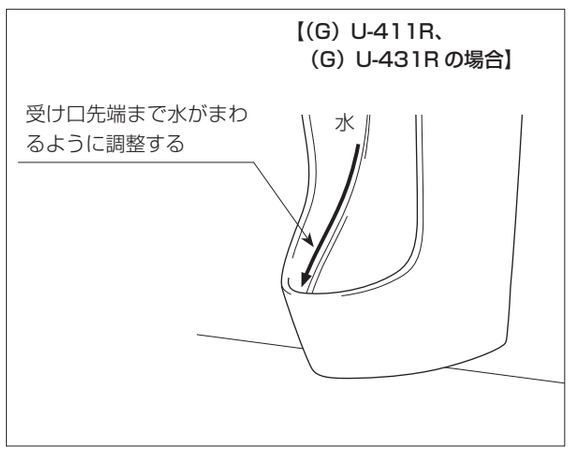
【フラッシュバルブの場合】

1.フラッシュバルブの水勢調節スピンドルを全閉にします。

2.洗浄ボタンを押し、水を流しながら徐々に水勢調節スピンドルを開けていき、小便器の受け口先端まで水がまわるように調整します。

（左に回すと水勢は強くなり、右に回すと水勢は弱くなります。）





◆注意点

●水勢が強すぎますと、洗浄飛沫が多く発生したり、洗浄水が鉢外へ飛び出す恐れがあります。

【小便器自動洗浄システムの場合】

洗浄モードの設定

スーパー AI 節水モードに設定してください。

◆注意点

●設定の方法は、小便器自動洗浄システムの取扱説明書に従って設定してください。

水勢の調整

センサーの緑色ランプ（流量表示ランプ）が点灯の状態に調整してください。

◆注意点

●調整の方法は、小便器自動洗浄システムの取扱説明書に従って調整してください。

● AI 節水モード、固定モードで使用される場合は「フラッシュバルブの場合」と同様の調整をおこなってください。
この時、緑色ランプ（流量表示ランプ）が点滅の状態になる事がありますが、異常ではありません。

●水勢が強すぎますと、洗浄飛沫が多く発生する場合があります。

8 フラッシュバルブカバーの取付け

◆注意点

● カバー（前）の表面を傷つけないよう注意して取り付けてください。

1. カバー（前）の正面の穴にバルブ本体のボタンを通し、バルブ本体の突起部がカバー内側のガイド溝に沿うようにカバー（前）をはめ込みます。
2. カバー（後）を傾けて、つめをカバー（前）のひっかけ部へ差込み、カバー（前）とカバー（後）を取り付けます。
3. カバー（前）とカバー（後）を手で挟み込むように持ちながら、プラスドライバーを使って、カバー（前）底面部のネジ（2 箇所）を締め付けます。

◆注意点

● 電動ドライバーを使用したり、ネジを無理に締め付けるとカバー（前）およびカバー（後）を破損するおそれがあります。

4. ボタン操作を数回行って便器を洗浄し、ボタンとカバー（前）に干渉がなく、ボタン操作がスムーズに行えることを確認します。